

ENTRANCEで何かの"キッカケ"を。 子どもから大人まで心が動くイベントを開催！



遊育事業で行った「餃子作り体験」の様子

遊育事業で行った「餃子作り体験」の様子

を作っている姿がとても印象的でした。子どもたちにとっては「異学年との交流」と「初めて餃子を一から作る経験」に新たな学びを得たイベントだったのではないかと思います。

カイトクでは「ABIRA TALKS」を開催。ABIRA TALKSとは、『「安平町でこんなことをやりたい！」という熱い想いをを持ったチャレンジャーが自分の想いや、やりたいことをプレゼンし、その熱意に共感したサポーターがお金を出資してその想いを実現させるための手助けをする。』といったイベントです。

今回は「ENTRANCEボードゲーム大会を開催したい!」「安平の森で音楽会をしたい!」「ガンケ山にプレーパークを作りたい!」というアツい想いをを持った3人のチャレンジャーが登壇し、各々の想いを乗せ、やりたいことをプレゼンしました。プレゼン終了後は「サポーター（お金を出資する人たち）」から出てくる本気の質問に本気で答える質疑応答の時間を経て、「ジャッジタイム（チャレンジャーにいくら出資するか決める時間）」に移ります。結果は見事、チャレンジャー全員が自分たちの提示した希望金額を集めることに成功しました!

第1回目の開催となった今回のABIRA TALKSではイベント参加者から「刺激を受けた!」「勇気をもたらした!」「自分も登壇したい!」などの声が上がっていました。

『新たな一歩を、そして明日にワクワクしよう!』少しでも多くの方が、自分なりの挑戦をもって明日にワクワクしてほしい。』と担当の松岡からの話もありました。この町でチャレンジする人、そのチャレンジを心から応援する人、そういった方々がこの町にたくさん生まれてほしい。そういう前向きな想いをを持った人がたくさん出てくる町になって欲しい。そう感じたイベントでした。

1日を通して子どもから大人まで幅広い層、種類の違うイベントをENTRANCEで開催することができて本当に良かったと思います。

「人生が変わる」とまでは言えませんが、何かの“キッカケ”になる。そんなイベントが今後ENTRANCEで増えていくと思っています。

そういった情報をいち早くENTRANCEのLINEではお伝えしておりますので、ぜひご登録いただけたら幸いです。お待ちしております!

9月13日(日)、ENTRANCEで2つのイベントが開催されました。復興ボラセンメンバーの鈴木宙夢（地域おこし協力隊）が取り組む「遊育」で午前中に「餃子づくり」を。午後には同じくメンバーの松岡亮（地域おこし協力隊）が取り組む「カイトク」で「ABIRA TALKS」が行われました。

遊育もカイトクも担当者が復興ボラセンメンバーということもあり、今回ENTRANCEをイベント会場として使用していただきました。

遊育で開催した「餃子づくり」ではENTRANCEの料理長、吉田圭介さんから直々に子どもたちへ餃子作りのいろはを伝え、具材の買い出しから調理、完成までをすべて子どもたちだけで行いました。イベントには小学校1年生から小学校6年生が参加しており、グループを組んだ際には高学年の子が低学年の子の面倒を見ながら一緒に餃子



カイトク事業で行った「ABIRA TALKS」の様子



(一社) 安平町復興ボランティアセンター
TEL: 070-3139-0374
MAIL: abira.fukkouborasen@gmail.com



ENTRANCEから
ワクワクする情報お届け中!